
datasaver

マニュアル（基本編）

CONTENTS

1-1:datasaver とは？	5
1-2:フルバックアップと連続保護バックアップの仕組みについて	5
1-3: ^{レイド} RAID構成について	6
1-4:製品仕様・機能概要	7
2.ハードウェアについて	11
2-1:DS21T	12
2-2:DS42T	13
2-3:HDD 取り外し方法【DS21T/DS42T】	14
2-4:DS121T	15
2-5:HDD 取り外し方法【DS121T】	16
3.datasaver を導入する	17
3-1:設置環境の確認	18
3-1-1 バックアップ対象 PC のドライバが製品 CD に対応しているか確認する。	18
3-1-2 ドライバが確認できない場合	20
3-2:datasaver 電源を入れる、シャットダウンする	21
3-2-1 電源を入れる。	21
3-2-2 シャットダウンする。	21
3-3:導入:datasaver サーバ本体への接続	22
3-4:datasaver へのログイン	23
3-5:datasaver サーバ本体のネットワーク設定	24
4.管理者画面初期設定	26
4-1:datasaver の日付と時刻を変更	26
4-2:datasaver の管理者パスワードとEメールアラートの設定変更	27
5 エージェント作成	28
5-1:新しいエージェントの作成	28
5-2:エージェント設定の編集	28
5-3:エージェントの追加	29
5-4:エージェント消去	30
6.エージェントインストール～環境設定	31
6-1:エージェントインストール	31

6-2: エージェントアイコン画面について	33
6-3: エージェントの環境設定 (バックアップ対象 PC と datasaver の適合)	35
7. フルバックアップの開始～バックアップのキャンセル	36
7-1: フルバックアップの開始	36
7-2: フルバックアップのキャンセル	38
7-3: 連続保護バックアップのキャンセル	38
7-4: スケジュールバックアップ	39
8. メンテナンス	41
8-1: 管理者ログイン画面内のメンテナンス	41
8-2: datasaver サーバ本体の再起動	41
8-3: 各エージェントの状況確認	42
8-4: 各 PC からフルバックアップを取り直す。	42
8-5: リカバリポイントの確認方法	44
8-6: エージェント画面の確認	45
8-7: datasaver 安定動作させるためのメンテナンス	45
9. 復旧(リカバリ)	46
9-1: 個別ファイル復旧	47
9-2: フルシステムリカバリ(完全復旧)	50

◆はじめに

datasaver マニュアル（基本編）は、導入設置・バックアップ開始・復旧についての基本的な使い方についての説明をしています。詳細設定やアップグレードに関しては、**datasaver** マニュアル（応用編）を併せてご覧ください。**datasaver** をご使用されるお客様は必要な際にすぐ参照できるよう本マニュアルを近くに置き保管してください。またマニュアル本文中に画像イメージを添付していますが、お客様先によって設定や状況は異なりますので、参考としてご覧ください。また本マニュアルに関するお問い合わせは本書最後に記載しております窓口連絡先までお願い致します。

◆本マニュアル対応機種

製品名	外観	型番	構成	実容量
datasaver DS21T		DS21T	SATA HDD 1TBx2 ソフトウェア RAID RAID1	1TB
datasaver DS42T		DS42T	SATA HDD 2TBx4 ハードウェア RAID RAID10	4TB
datasaver DS121T		DS121T	SATA HDD 1TBx12 ハードウェア RAID RAID6+ホットスペア	12TB

機種により構成が異なるため、操作が異なる場合もございます。

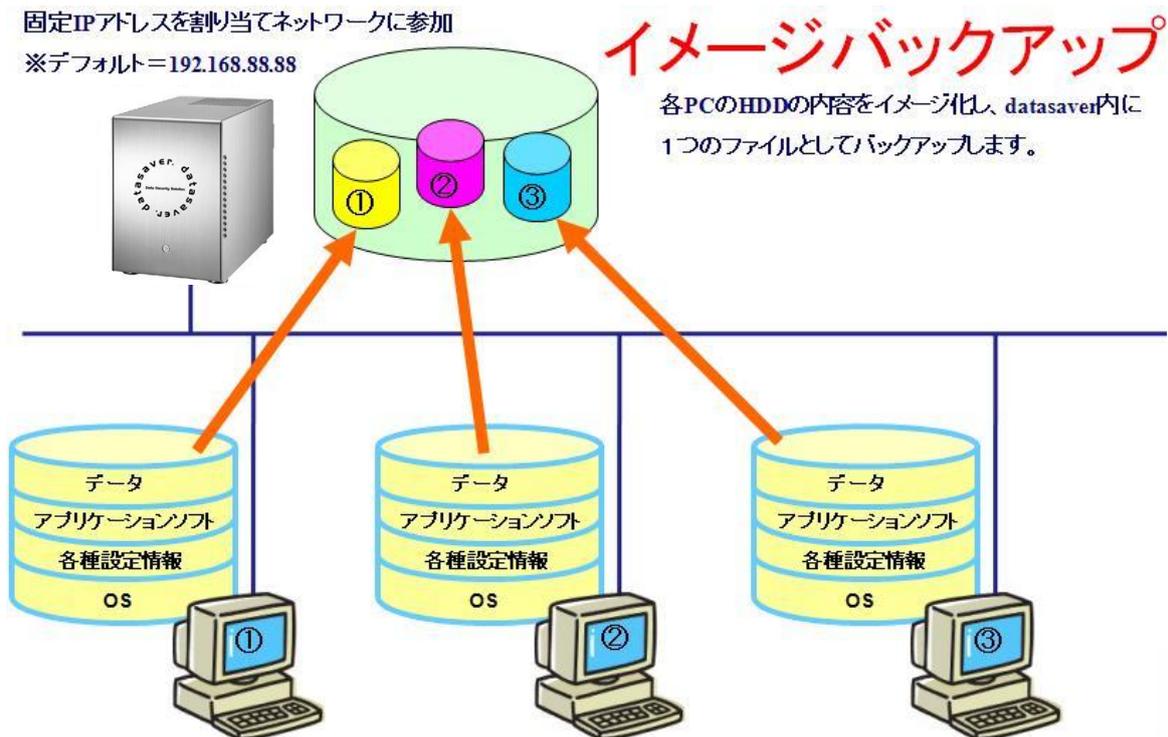
その場合は本マニュアルに対応機種を明記していますのでご確認ください。

1. datasaverについて

1-1: datasaver とは？

datasaver はクライアント PC(またはサーバ)の HDD のシステム領域+データ領域の全てを連続保護(CDP)によりバックアップします。IT の専門知識のあまり無い方でも、誰にでも簡単に 3 つのステップで復旧作業を行えるバックアップ・復旧ソリューションです。

《**datasaver** のバックアップイメージ》



1-2: フルバックアップと連続保護バックアップの仕組みについて

◆フルバックアップ

datasaver のフルバックアップは「単独バックアップ」と「連続保護バックアップ」の 2 種類があります。

※フルバックアップは任意の時間から開始する「スケジュールバックアップ」設定が可能です。

☞ 単独バックアップ

フルバックアップを 1 度行います。フルバックアップ終了後は **datasaver** との接続を行わないため、次回フルバックアップを行う際には再度フルバックアップを行う必要があります。

※使用例: PC の雛型をバックアップしたい、ネットワークに負荷をかけたくない等

☞ 連続保護バックアップ

フルバックアップを 1 度行います。フルバックアップ終了後も **datasaver** とリアルタイムで接続を行い続けるため、PC は常に **datasaver** に守られ続けます。

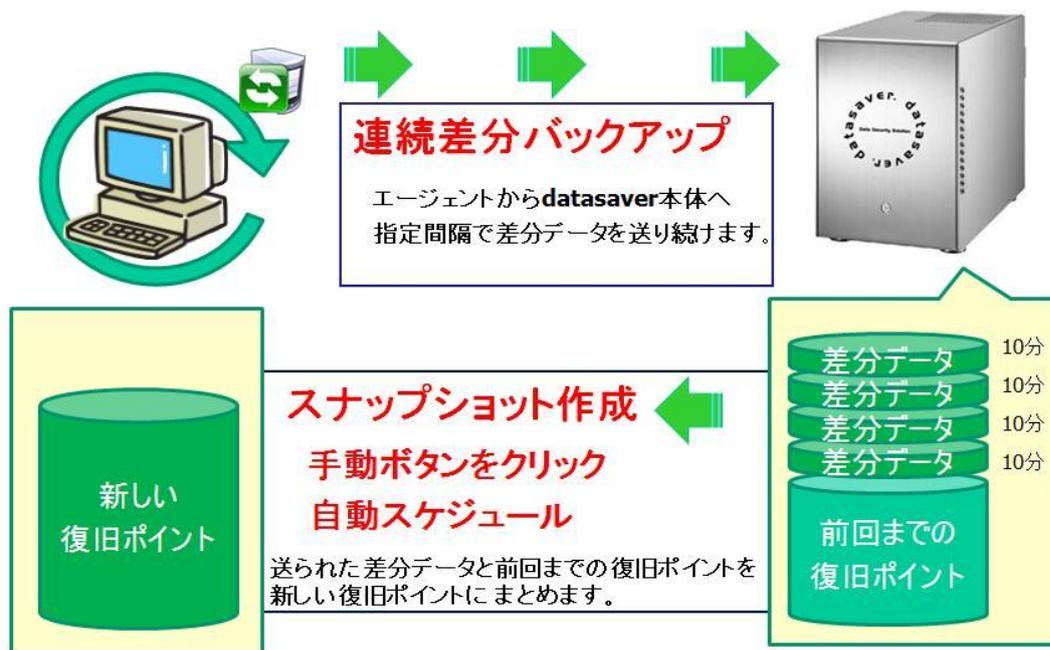
◆エージェント

エージェントは各 PC にインストールする必要があります。インストールされたエージェントは **datasaver** との接続時や、連続保護バックアップ時に稼働します。連続保護バックアップ時は 10 分毎(初期設定時)に PC 内の HDD の変更点をブロック単位で探し、その変更点のみを **datasaver** サーバ本体へ送ります。

◆**datasaver** サーバ本体

datasaver サーバ本体は、フルバックアップと各エージェントから送られてくる差分データをまとめたりリカバリポイントの作成や管理を行います。(この作業をスナップショットと言います。)また、管理者画面にて各エージェントの作成や編集を行うことができます。

《エージェントと **datasaver** サーバ本体の仕組みイメージ》



レイド 1-3:RAID構成について

datasaver は複数のハードディスクをまとめて 1 台のハードディスクとして管理する RAID 技術を採用しています。Raid 構成のしくみの詳細はマニュアル応用編「Raid 構成のしくみ」をご覧ください。

☞ 【DS21T】の場合

RAID1…2 本の HDD にまったく同じデータを同時に書きこむ方式を採用しています。HDD1 本が故障してもデータが守られていますが、2 本故障しますと全てのデータが消失します。

☞ 【DS42T】の場合

RAID10…ドライブ 2 台でデータを 2 重化したペアを、さらに 2 台×2 でまとめて 1 組の HDD(アレイ)としてデータを分散して保存します。各ペアには、それぞれ同じデータが記録されます。万一のドライブ故障時には、ドライブを交換し、ペアのドライブからデータを復旧できます。同じデータを保存したペアのドライブが同時に故障しない限り、最大 2 台までの HDD の故障に対応できます。

☞ 【DS121T】の場合

RAID6…異なるパリティを 2 つ取って両方記録するため、同時に HDD2 本が故障してもデータは守られています。しかし、3 本故障しますと全てのデータが消失します。

1-4:製品仕様・機能概要

シリーズ	datasaver	
機種名	DS21T	DS42T
サイズ	W200*H270*D355	
重量	約 7 kg	約 8.4 kg
CPU (s)	Intel Atom Dual Core 1.8GHz	Intel Xeon Qua 3.1GHz
メモリ	2GB SODIM	4GB ECC
HDD	Serial ATA II ディスク	
物理容量	2TB(1TB x 2)	8TB(2TB x 4)
論理容量	1TB (RAID1)	4TB (RAID10)
LAN	GB イーサネットポート x 1 オートセンシング	GB イーサネットポート x 2 オートセンシング
電源	450W シングル	
その他	ホットスワップHDD 機能あり RAID : ソフトウェア RAID1	ホットスワップHDD 機能あり RAID : ハードウェア RAID10

シリーズ	datasaver	
機種名	DS121T	
サイズ	2U W440*H88*D700	
重量	約 26 kg	
CPU (s)	Intel Xeon X3450	
メモリ	8GB ECC	
HDD	Serial ATA II ディスク	
物理容量	12TB(1TB x 12)	
論理容量	9TB (RAID6+ホットスペア)	
LAN	GB イーサネットポート x 2 オートセンシング	
電源	800W x 2 2重化	
その他	ホットスワップHDD 機能あり RAID : ハードウェア RAID6 + ホットスペア	

対応 OS

Windows XP SP2 以上 (32bit のみ)	○
Windows Vista (32bit/64bit)	○
Windows 7 (32bit/64bit)	○
Windows 8 (32bit/64bit)	○
Windows Server 2003/ 2003R2 SP2 以上 (32bit/64bit)	○
Windows Server 2008 /2008R2 (32bit/64bit)	○
Windows Server 2012 (32bit/64bit)	○
LINUX	×
MAC	×

対応 Soft

Microsoft SQL	△ Microsoft SQL Server 2005 以上
Oracle	△ 11G は対応 (VSS 対応の為)
暗号化	△ 対応していないアプリケーションソフト、バージョンがございますので、 導入前に貸出機で確認をお願い致します。

対応 UPS (無停電電源装置)

APC Smart-UPS	SUA500JB / SUA750JB / SUA750RMJ1UB / SUA1000JB / SUA1500JB / SUA1500RMJ2UB / SUA2200JB / SUA3000JB / SUA3000RMJ2UB ※別途 AP98117J もしくは AP9827 USB 付属ケーブルが必要 ※上記機種には datasaver に自動シャットダウンさせるソフトのインストールは必要ありません。
---------------	---

対象PC

推奨スペック	メモリ	1GB RAM 以上
	CPU	Pentium4 プロセッサ 1GHz または DUAL CORE CPU 相当品以上
	ディスク空き容量	1.5GB以上
対応ディスクボリューム	NTFS	○
	FAT32	△ (Cドライブ以外なら OK)
	ReFS	×
	ダイナミックボリューム	×
	圧縮ドライブボリューム	× (開発中)
	GPT ディスク	○ (連続保護稼働中で、上書きにてソフトウェアをアップデートの場合、 MBR ディスクと GPT ディスクを含む場合、フルバックアップをやり直す 必要がございます。)
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ●対象 PC に問題がある場合、正しく動作しない場合がございます。 ●不良セクタのある HDD は、正常にバックアップできない場合がございます。 ●フラグメントが多数ある HDD は、正常にバックアップができない場合がございます。 ●パーティションの論理フォーマットをしていない箇所があるディスクはバックアップできません。 ●フルバックアップ取得前に必ず製品 CD から起動できる事を確認して下さい。なお、製品 CD を起動ディスクとして使用する際には CD-ROM ブート可能な BIOS が搭載されている必要がございます。 ●メーカーリカバリ CD (製品添付またはメーカーより購入) の有無をご確認下さい。 ●対象がサーバの場合、サーバを長期間再起動をしておらず、且つ長時間稼働している場合、本製品とは関係無く稀に再起動時に HDD や OS に不具合が生じる場合がございます。 	
回線		
推奨回線環境	1Gbps 以上の有線 LAN	
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ●Wireless (無線) LAN での運用の場合、断線等の回線トラブルにより正常にバックアップ、リカバリができない場合がございます。 ●WAN 回線での運用の場合、LAN 環境よりもバックアップ、リストアに時間を要します。また、回線負荷等による回線トラブルにより、正常にバックアップ、リカバリができない場合がございます。 ●本製品と対象 PC 間のハブのカスケードは 2 段階までとして下さい。 	
ハードウェアの設置場所		
使用・周囲温度範囲	10℃～35℃	
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ●通風確保のため他の装置との間隔を十分に空けて下さい。 ●ホコリの多い場所に置かないで下さい。 	

バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> ●エージェントに対しライセンスフリー ●OS、各種設定、アプリケーションソフト、データまで HDD 全体のバックアップ ●CDP（連続差分）バックアップ（回線挙動時でも自動で保護を再開） ●単独バックアップ ●キャッシュレスバックアップ（Microsoft Volume Shadow Copy Service 技術を使用） ●フルバックアップ中でもユーザーログオフが可能。その後の自動シャットダウンも可能 ●対象PCの不良セクタや読み込みエラーを検出 ●簡単操作でフルバックアップの実行が可能 ●よりクリーンで簡易なユーザインターフェース、バックアップ状態も可視化 ●バックアップに必要な容量を自動的に確保 ●下記仮想環境下でも使用可能。（エージェントが稼働しているゲスト OS のみ。ホスト OS 非対応） VMware vSphere Hypervisor (ESXi) / VMware ESX / VM Fusion on Mac OSX / VMware Workstation / VMware Player / VMware Server on Windows / Parallels Desktop for Mac OSX / Parallels Desktop for Windows / Sun Virtual Box for Windows / Sun Virtual Box for Mac OSX / Citrix Xen Server / Microsoft HYPER-V 2.0（但し、フルリストア時にレガシーNIC の追加が必要） ※上記環境は事前に評価器にて稼働確認をお願い致します。
リカバリ	<ul style="list-style-type: none"> ●手動でリカバリポイントを直ちに作成が可能 ●簡単操作でフルシステムリカバリの実行が可能 ●フルシステムリカバリは全ての HDD または特定の HDD の選択が可能 ●個別ファイル／複数ファイルおよびフォルダの個別ファイル復旧が可能 ●最大 64 世代のリカバリポイント
セキュリティ、管理	<ul style="list-style-type: none"> ●エージェント名とパスワードにより各アカウントを保護 ●高速AES暗号化ネットワークによるデータ転送 ●Eメールアラートによる状況

ご注意点

- ★本製品をご担当される管理者様を必ず設けて下さい。
- ★本機能を正常に維持するためには定期的な点検またはメンテナンスが必要です。
- ★本製品はデータのバックアップ、リカバリを完全に保証するものではありません。

2.ハードウェアについて

重要 --- 梱包材と梱包箱の保管

本製品は、精密電子機器です。梱包箱は保管しておき、輸送時には必ず購入時の梱包材と梱包箱を使用してください。

重要 --- 無停電電源装置(UPS)の使用

ご使用時は、停電時等に備えて無停電電源装置（UPS）の使用をお奨め致します。

本製品対応のUPSについては最新仕様をご確認ください。

また、マニュアル応用編「6.datasaver をUPS(無停電電源装置)に接続する」を併せてご確認ください。

※注意 1 ～周辺環境～

- ◆本製品の使用温度範囲：10℃～35℃
- ◆設置場所は周囲温度が10℃～35℃の範囲。
- ◆通風確保：他の装置との間隔を十分に空ける。
※本製品の通気は前面→背面で行われます。
本装置を設置後に通気孔がふさがれないようにしてください。

※空気が正しく循環するように、本製品の通風口から十分にスペースを空けて下さい。
- ◆密閉タイプのラックを使用する場合、適切な通風が出来ない場合があります。このような場合には通風を良くするために全面および後面の扉を開放してご使用ください。
- ◆HDDは温度が高いほど故障率が高くなります。許容温度範囲内で、できる限り低い温度で使用してください。

※注意 2 ～ホコリ～

- ◆ホコリの多い場所に置かない。
ホコリが内部に蓄積され、コントローラ基板の絶縁不良、通風悪化による内部温度の上昇、各コネクタ部の接触不良等により故障が発生し易くなります。

できる限り、ホコリの少ない場所に設置をしてください。

2-1:DS21T

本体サーバ 【DS21T / DS42T 共通】

【正面】



電源ボタン/ Power LED

●電源ボタン

押すと本体サーバの電源が入り、青点灯します。

【底面】



ホコリが溜まった際は底面の
フィルター掃除をします。

本体サーバ 【DS21T】

【背面】



電源コネクタ

LAN ポート

シリアル番号

●電源コネクタ

付属の電源コード(3P)を接続します。

●LAN ポート

ネットワークを接続します。

●シリアル番号

製品のシリアル番号シールが貼付してあります。

本体サーバ 【DS21T】

【側面】

開けるには側面の四隅を手前に引っ張ります。

※ネジは使用していません。



内部装着 HDD



HDD 1

HDD 2

HDD が 2 本入っています。

2-2:DS42T

本体サーバ 【DS21T / DS42T 共通】

【正面】



電源ボタン/ Power LED

【底面】



ホコリが溜まった際は底面の
フィルター掃除をします。

●電源ボタン

押すと本体サーバの電源が入り、青点灯します。

本体サーバ 【DS42T】

【背面】



電源コネクタ

LAN ポート
※使用するポート
は1つです。

シリアル番号

●電源コネクタ

付属の電源コード(3P)を接続します。

●LAN ポート

ネットワークを接続します。

●シリアル番号

製品のシリアル番号シールが貼付してあります。

本体サーバ 【DS42T】

【側面】

開けるには側面の四隅を手前に引っ張ります。
※ネジは使用していません。



内部装着 HDD



HDD 1

HDD 2

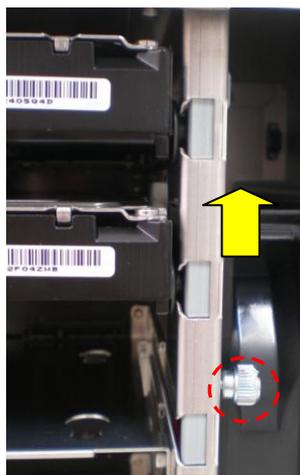
HDD 3

HDD 4

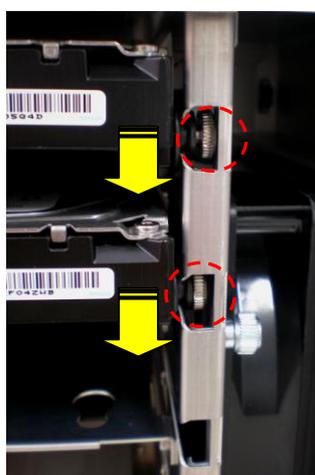
HDD が 4 本入っています。

2-3:HDD 取り外し方法 【DS21T/DS42T】

- ①本体サーバの側面を開く。
- ②固定してあるネジを回して緩め、
スライダーを上を持ち上げます。



- ③開いたら、HDD を手前に引き出します。



2-4:DS121T

本体ラックマウント 【DS121T】

【正面】 フロントパネルを付けた状態



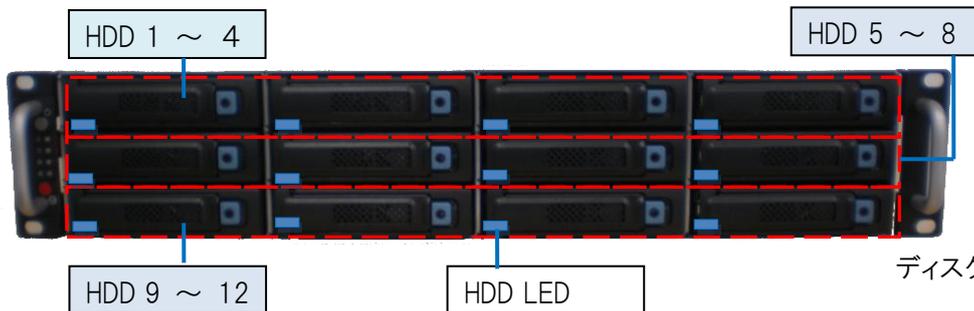
フロントパネル

フロントパネル固定キー



専用鍵にて管理ができます。

【正面】 フロントパネルを外した状態



HDD 1 ~ 4

HDD 5 ~ 8

HDD 9 ~ 12

HDD LED



ディスクの専用鍵にて管理ができます。



電源ボタン

Power LED

NIC 1 LED

NIC 2 LED

リセットボタン

●電源ボタン

押すと本体サーバの電源が入ります。

Power LED が点灯し、HDD LED が青色に点灯します。

●Power LED

電源ボタンを押すと緑色に点灯します。

●NIC 1/ 2

使用している NIC が橙色に点灯します。

本体ラックマウント 【DS121T】

【背面】

Power LED

●Power LED 電源を接続すると緑点灯致します。



電源コネクタ

LAN ポート ※使用するポートは1つです。

●電源コネクタ

付属の電源コード(3P)を接続します。

●LAN ポート

ネットワークを接続します。

2-5:HDD 取り外し方法 【DS121T】

- ①フロントパネルを外す。
- ②ディスクの専用鍵をかけている場合は
鍵を開けてください。



- ③取り出す HDD スロットの
青いボタンを押します。



- ④取手レバーが手前に出てきます。
そのまま手前に引き、取り出します。



3.datasaver を導入する

導入フロー datasaver 本体サーバ	 内容物確認 [はじめにお読みください]にて確認して下さい。
	 導入設置準備 P22～
	 datasaver 本体サーバをネットワークに参加させる P22～
	 datasaver 本体サーバにログインして初期設定をする P23～ 日時の確認、ネットワーク設定、管理者設定
	 datasaver 本体サーバにバックアップ対象の PC リストを作成する P28～ バックアップを取得するエージェント設定をします。
導入フロー バックアップ対象 PC	 バックアップ対象 PC のドライバ情報が読み取られるか確認する P18～
	 エージェントソフトのインストール P31～
	 エージェントの Setup Wizard を起動 P31～ (=環境設定をする)
	 バックアップ開始指示 P36～

3-1: 設置環境の確認

datasaver 電源とネットワークケーブルを正しい場所に接続して下さい。

お客様環境が電圧、電源コネクタ、**datasaver** の必要環境条件を満たしているかどうか、ご確認ください。

3-1-1 バックアップ対象 PC のドライバが製品 CD に対応しているか確認する。

重要 --- インストール兼ドライバ確認 CD をご用意ください。

必ず **datasaver** にてバックアップをする前に実行してください。

バックアップが可能でも、PC が故障してフルシステムリカバリが必要な際に、PC 内のドライバが検知できず、すぐに復旧できません。

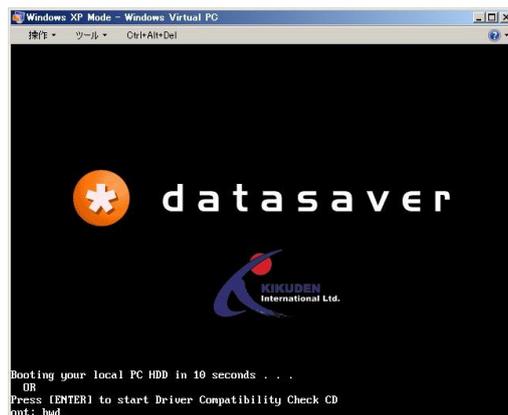
- ①インストール兼ドライバ確認 CD をバックアップ対象 PC の CD ドライブに挿入し、PC を起動。



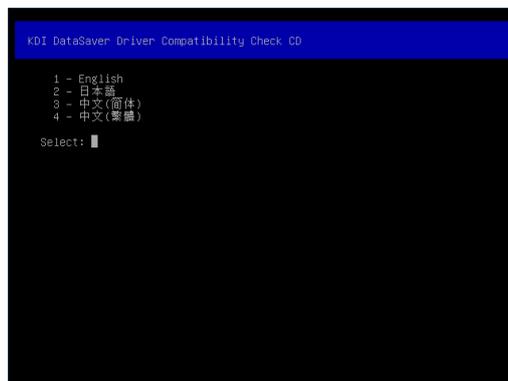
- ②CD から起動し、**datasaver** と表示されます。

※起動画面は 10 秒経ちますと、自動的に HDD 起動に切り替わります。

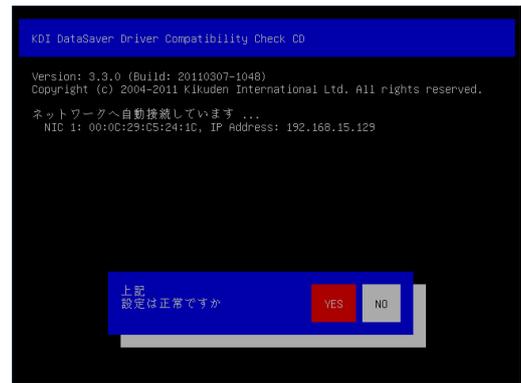
※復旧時の入力画面は英語表示になります。



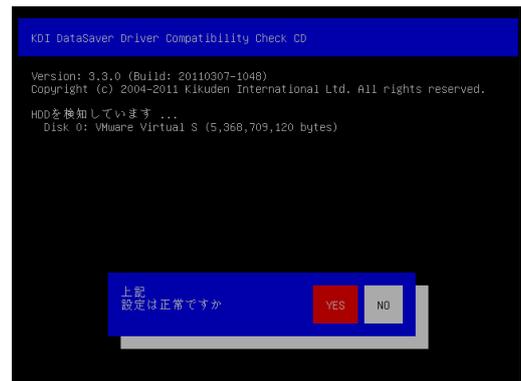
- ③言語選択をする。日本語の【2】を入力し【Enter】キーを押す。



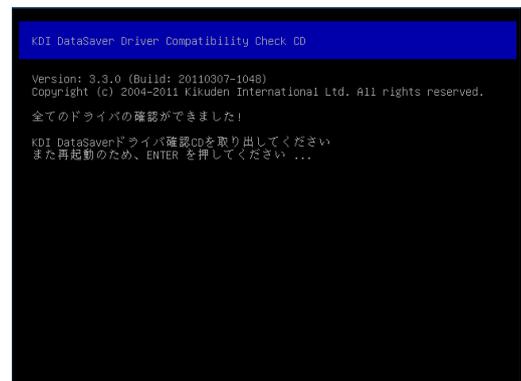
- ④ドライバを読み込んだ後、ネットワーク接続(NIC と IP アドレス)が正しいか確認する。
正しいければ【YES】に赤を点灯させたまま【Enter】キーを押す。



- ⑤HDD を検知が開始され、HDD 情報が表示されます。
表示内容が正しいければ【YES】に赤を点灯させたまま【Enter】キーを押す。



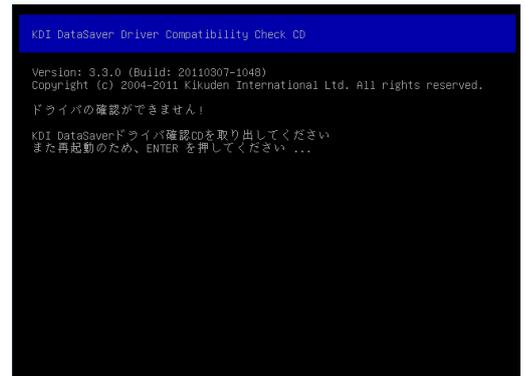
- ⑥「全てのドライバが確認できました！」と表示されれば
ドライバ確認は完了です。



- ⑦ドライバ確認 CD を取り外し、【ENTER】を押して
再起動を実行してください。

3-1-2 ドライバが確認できない場合

ドライバが確認できない場合は右の画面が表示されます。
その場合は、以下手順に従ってドPCドライバ情報を
弊社サポートチームへご連絡ください。



①USB フラッシュメモリを差し込む。

MEMO --- 利用するUSB フラッシュメモリについて

NTFS または FAT32のもので、他のアプリケーション(U3 やセキュリティ・暗号機能)が入っていないものをご利用ください。

②約 10 秒後(フラッシュメモリが認識された後)【ENTER】キーを押して再起動をする。

③PC 再起動後、USB フラッシュメモリを抜く。

④USB フラッシュメモリ内に【cddiag.bkp】ファイルが作成されているのを確認する。

⑤こちらのファイルを弊社サポートチームへ送付ください。

併せて PC 型番、仕様の情報もご提供ください。

頂いた情報をもとに新しいドライバを組み込み、リカバリ CD を作成してアップグレード致します。

3-2: datasaver 電源を入れる、シャットダウンする

3-2-1 電源を入れる。

①付属の電源ケーブルを電源コネクタに差し込み、コンセントに繋がします。

②前面の電源ボタンを約1～2秒押してください。

※正確な差し込み口は本マニュアルの「ハードウェアについて」をご覧ください。

3-2-2 シャットダウンする。

重要 --- datasaver サーバ本体のシャットダウン

本体前面の電源ボタンから急に切りますと、故障の原因となるため、シャットダウンは必ずこちらの手順にてお願いいたします。

①管理者としてログインします。

※ログイン方法はマニュアル基本編を参照。

②メニューの【サーバ管理】をクリック。

③【KDI DataSaver シャットダウン】をクリック。

※【サーバ管理】メニュー詳細についてはマニュアル応用編にてご確認ください。



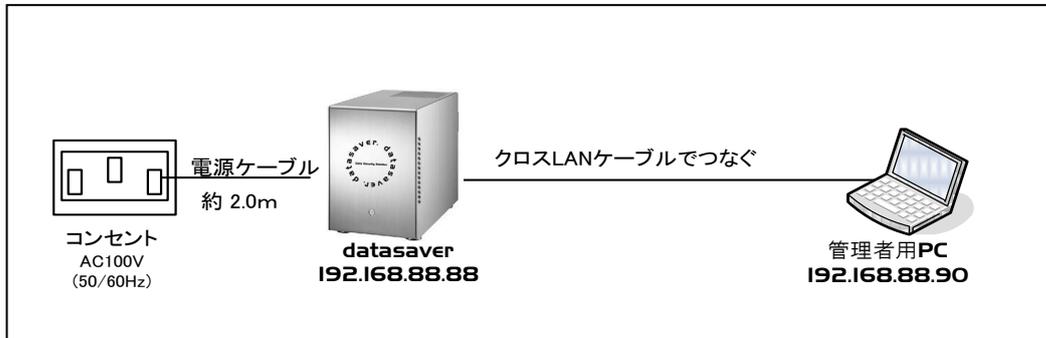
3-3:導入:datasaver サーバ本体への接続

導入時、管理用 PC と **datasaver** サーバ本体を接続するには以下の操作が必要です。

導入時、**datasaver** の IP アドレスは、初期設定(デフォルト)で「192.168.88.88」と設定されています。

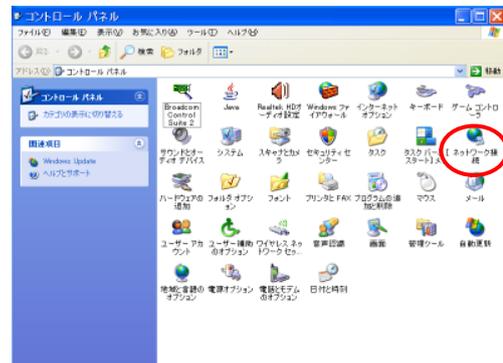
一時的に管理用 PC の IP アドレスを変更し、**datasaver** と接続させる必要があります。

(例: IP アドレス/192.168.88.90,サブネット/255.255.255.0,ゲートウェイ/192.168.88.1)



※管理用 PC の IP アドレスを変更する方法(XP の場合)

①【コントロールパネル】を開き、【ネットワーク接続】を開きます。

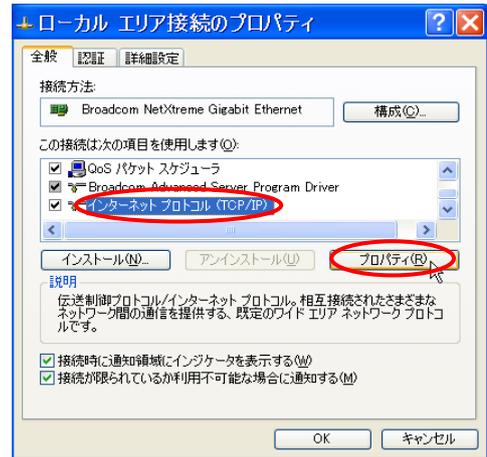


②【ローカルエリア接続】を右クリックして

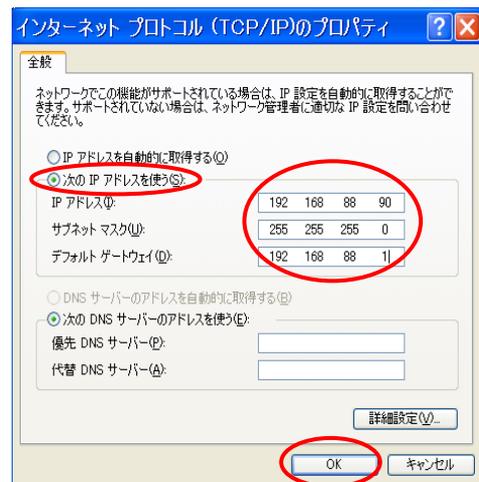
【プロパティ】を開きます。



- ③【インターネットプロトコル】をクリックし、
【プロパティ】ボタンをクリック。



- ④【次の IP アドレスを使う】にチェックを入れ、
IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイを
入力し、【OK】ボタンをクリック。



3-4: datasaver へのログイン

- ① 次のアドレスを WEB ブラウザで開く。

<http://192.168.88.88>

エージェントログイン画面(下記参照)が表示されます。

- ② 右下の【管理者ログイン】をクリック。

※こちらは「エージェントログイン画面」です。



Copyright © 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

- ③ 管理者ログインパスワード **admin (初期設定時)** を入力。

※こちらが「管理者ログイン画面」です。

※初めてのログイン時はパスワードの変更を求められます。



Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

- ③お客様のネットワークに合った【datasaver の固定 IP アドレス】、【サブネットマスク】、【ゲートウェイ/ルーター】を入力。
※E メールアラート設定をご希望の方は 1 つ以上の DNS サーバ情報の入力が必要です。

- ④【保存】ボタンをクリック。
⑤【はい】をクリック。

4.管理者画面初期設定

4-1:datasaver の日付と時刻を変更

①【管理者ログイン画面】へログイン。



Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI and KDI DataSaver are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

②上部にあるメニュー項目から【設定】ボタンをクリック。



Copyright (c) 2004-2010 Digital Artifact Pte Ltd. All rights reserved.
Digital Artifact and DataSaver are registered trademarks of Digital Artifact Pte Ltd.

③【日付と時刻の変更】ボタンをクリック。



Copyright (c) 2004-2011 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI and KDI DataSaver are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

④【タイム】は現在の時刻を24Hで入力して下さい。(例:13:46=午後1時46分)

【日付】は左から日・月・年を入力して下さい。



Copyright © 2004-2009 KDI Solution Ltd. All rights reserved.
KDI Solution and KDI DataSaver are registered trademarks of KDI Solution Ltd.

⑤【保存】ボタンをクリックし、設定を保存します。

重要 --- 日付時刻設定

リカバリポイント作成後は日付と時刻の設定を変更しないで下さい。
作成されたリカバリポイントが破損する場合があります。

4-2: datasaverの管理者パスワードとEメールアラートの設定変更

- ①【管理者ログイン画面】へログイン。
- ②上部にあるメニュー項目から【設定】ボタンをクリック。
- ③【管理者詳細設定変更】ボタンをクリック。

datasaver



Copyright (c) 2004-2011 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

datasaver

管理者パスワードの変更する
場合、新しいパスワードを
2度入力し、【保存】ボタンを
クリック。

管理者Eメールアラートを設定
する場合は「はい」にチェックを
入れます。下記項目を入力し
【保存】ボタンをクリック。その後
【テスト送信】にて正常に受信で
きるかご確認ください。

【Eメールアドレス】

【SMTPサーバ】

【SMTPポート】

【SMTPユーザーネーム】

【SMTPパスワード】

重要 --- 管理者Eメールアラート設定

Eメールアラートの設定を行うにはインターネットに接続されている環境が必要となります。また、ネットワーク設定にて1つ以上のDNSサーバ情報の入力が必要です。

重要 --- 複数の管理者Eメールアラートを入力

Eメールアドレスは、5つまで入力できます。

コンマで区切って入力してください。

各アドレスの長さは29文字以内にしてください。

例： support@kikuden.co.jp (21文字)

5 エージェント作成

5-1:新しいエージェントの作成

- ①【管理者ログイン画面】へログイン。
- ②上部にあるメニュー項目から【エージェント】ボタンをクリック。

※導入時、初めてエージェントを作成する場合に

【エージェント】ボタンをクリックすると右記画面が表示されます。

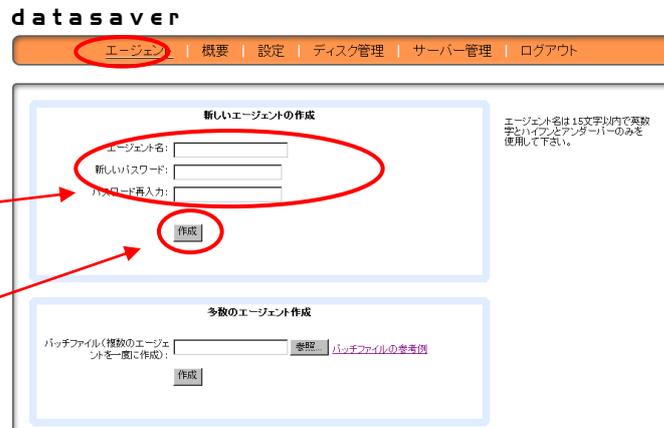
- ③新しいエージェントの作成。

【エージェント名】、【パスワード】を入力。

※エージェント名とパスワードは、15文字以内で英数字とハイフンとアンダーバーのみを使用して下さい。

- ④【作成】ボタンをクリック。

- ⑤【はい】をクリック。



5-2:エージェント設定の編集

- ①【リカバリポイントの最大数】を変更する。

※初期設定時は「7」です。

- ②【新しいスケジュール】を設定する。

※初期設定時は【スケジュールなし】です。

※こちらで設定したスケジュール＝リカバリポイントとなります。

※以下の場合はスナップショットスケジュールが実行されません。
・datasaver サーバ本体の電源が入っていない場合

※エージェントを複数台定期毎X分のスケジュールは推奨しておりません。datasaverサーバ本体のCPUに負荷を与え、ファイルシステムの損傷の原因となります。

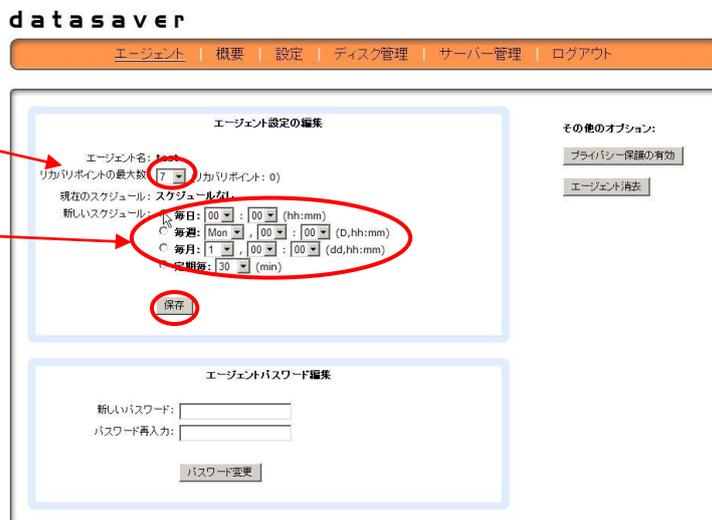
※推奨は毎日1回 PCの稼働が少ない夜間です。

- ③【保存】ボタンをクリック。

- ④5-1にて設定したパスワードを変更する場合はこちらに新しいパスワードを入力します。

- ⑤【パスワード変更】をクリック。

※上記①～⑤は任意の設定、変更ですので、必要に応じてご使用ください。



5-3: エージェントの追加

①【管理者ログイン画面】へログイン。

② 上部にあるメニュー項目から
【エージェント】ボタンをクリック。

※エージェントが1つ以上作成されている場合は
右記画面が表示されます。

③【新しいエージェントの作成】をクリック。



④【5-1新しいエージェントの作成】と同様、

⑤【5-2エージェント設定の編集】同様【リカバリポイントの最大数】、
【エージェント名】、【パスワード】を入力。



⑥【新しいスケジュール】を設定する。



5-4: エージェント消去

重要 --- エージェント消去

※エージェントを削除する場合は、バックアップを停止してから削除を行って下さい。

※複数数を消去する場合、datasaver本体サーバのCPUへ負荷がかかるため、1つずつ順番に消去を実行して下さい。

※エージェント内のリカバリポイント等全てのデータは全て削除されますので、注意して操作を行って下さい。

※フルバックアップ中、連続保護バックアップ中に削除を行うと故障の原因となりますので、
注意して操作を行って下さい。

①【管理者ログイン画面】へログイン。

②上部にあるメニュー項目から

【エージェント】ボタンをクリック。

※エージェントが1つ以上作成されている場合は下記画面が表示されます。



③【エージェント設定】ボタンをクリック。

④【エージェント消去】ボタンをクリック。



⑤【はい】をクリック。



⑥エージェントが消去されます。



6. エージェントインストール～環境設定

重要 ---- エージェントインストール

※事前にバックアップ対象PCのドライバが製品CDに対応しているかインストール兼ドライバ確認CDにて確認を行って下さい。

※エージェントをインストールするためには、約15MBのスペースが必要です。

※もし Microsoft Anti-spyware または Spybot をご使用されている場合、レジストリで変更が出来るように **datasaver** エージェントインストーラの認可をして下さい。

※もし、PC でファイアウォールソフトウェアまたはネットワークでファイアウォールを導入されている場合、**datasaver** と **datasaver** エージェントが接続できるように、ポート 5450 を開けてください

6-1: エージェントインストール



①インストール兼ドライバ確認 CD を対象 PC の CDドライブに挿入。

②CD 起動後、

バックアップ対象 PC が 32bit マシンの場合【Windows XP/2003/Vista/2008/Win7】をクリック。

バックアップ対象 PC が 64bit マシンの場合、【Windows(64bit) 2003/Vista/2008/Win7】をクリック。

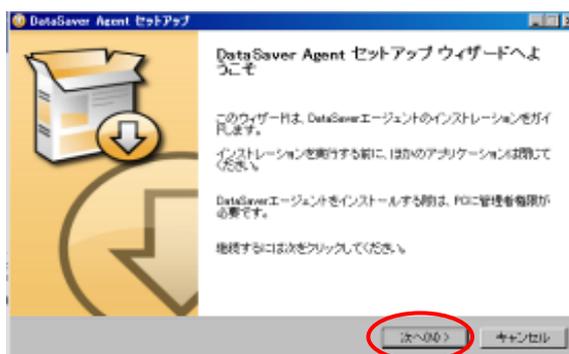
※右上にて言語を日本語に変更することができます。



③言語を選択します。

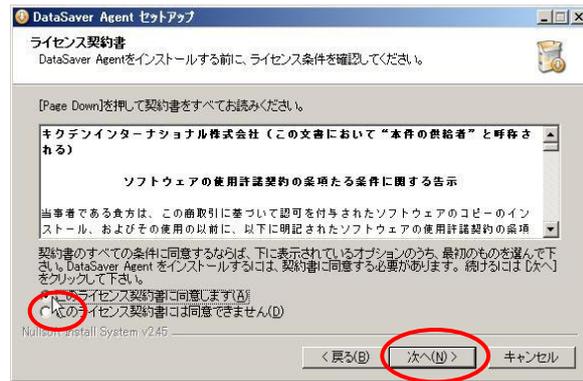


④セットアップウィザードが表示されます。画面の指示に従ってインストール過程を続けて下さい。



⑤ライセンス契約書に同意して

【次へ】をクリックしてください。

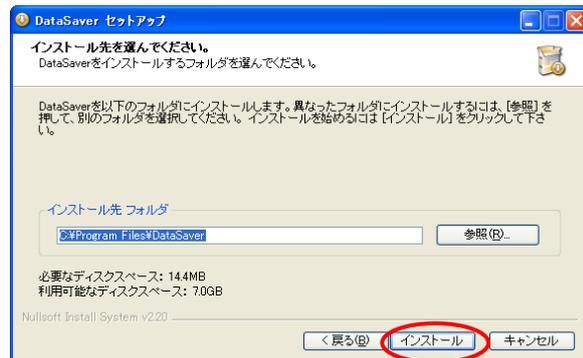


⑥インストール先を選びます。

初期設定時では下記に設定されています。

C:¥Program Files¥DataSaver

【インストール】をクリック後、インストールが開始されます。



⑦インストール過程を完了する為に再起動を行って下さい。



⑧再起動が完了するとPC画面右下のトレイにアイコンが表示されます。



6-2: エージェントアイコン画面について

※PC画面右下のトレイに表示される【エージェントアイコン】と【エージェント画面】についての説明です。

① エージェントアイコン 一覧表

アイコン表示	状態	説明
	エージェント起動中です	エージェントが起動している際に表示されます。
	システムは保護されていません	システムが保護されていない時のみ表示されます。 その他情報がエージェント画面にて表示されます。
	システムは保護されています。	システムが保護されている場合に表示されます。 単独バックアップ時也表示されます。
	バックアップ作成中です。	バックアップを作成しています。
	同期中です。	連続保護バックアップを選択された場合、 最初のフルバックアップ完了後、 同期する際に表示されます。
	警告 エージェント起動エラー。 詳細は、マニュアル(応用編)にて ご確認ください。	一般的な警告がある場合に表示されます。 エージェントが起動中にエラーになった場合にも 表示されます。
 systray_schedule.ic 0	バックアップスケジュール有効	スケジュールバックアップを選択された場合に表示 されます。

②エージェント画面の説明

フルバックアップを開始する際に使用します。

エージェントと **datasaver** を通信させる設定を行う際に使用します。

設定を変更する際に使用します。詳細は、マニュアル応用編にてご確認ください。

バックアップ | **設定** | オプション | 製品情報

使用中のエージェントバージョンを確認できます。

エージェント名: 環境設定されていません。
DataSaver IPアドレス: 環境設定されていません。
環境設定後、エージェント名と接続されている **datasaver** の IP アドレスを表示します。

システムは保護されていません。
新しくバックアップを開始してください。
エージェントの状態を表示します。

システムは保護されていません。
DataSaverエージェントは環境設定されてません。
設定または下記リンクをクリックしてください。
[環境設定](#)
エージェントの状態詳細を表示します。

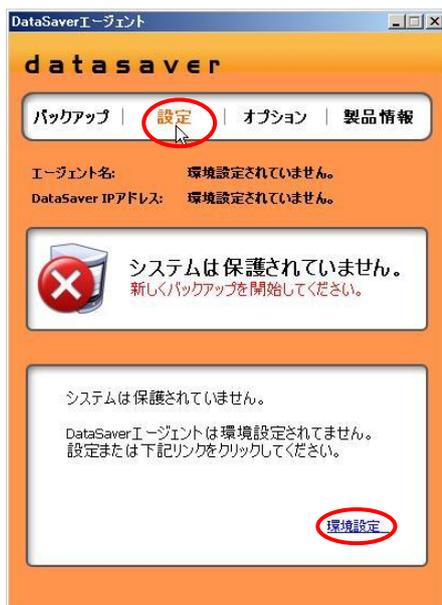
6-3: エージェントの環境設定 (バックアップ対象PCとdatasaverの適合)

※フルバックアップを始める前に、HDD をデフラグすることを推奨致します。

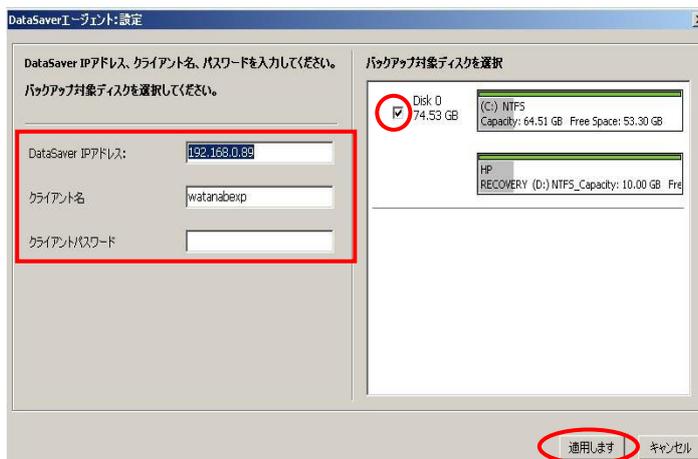
① PC 画面右下のトレイのアイコンをクリックしてエージェント画面を開く。



②【設定】または【環境設定】をクリック。



③【datasaver IP アドレス】【エージェント名】【パスワード】を入力し、右側の対象ディスクの☑にチェックを入れ【適用します】をクリック。



7.フルバックアップの開始～バックアップのキャンセル

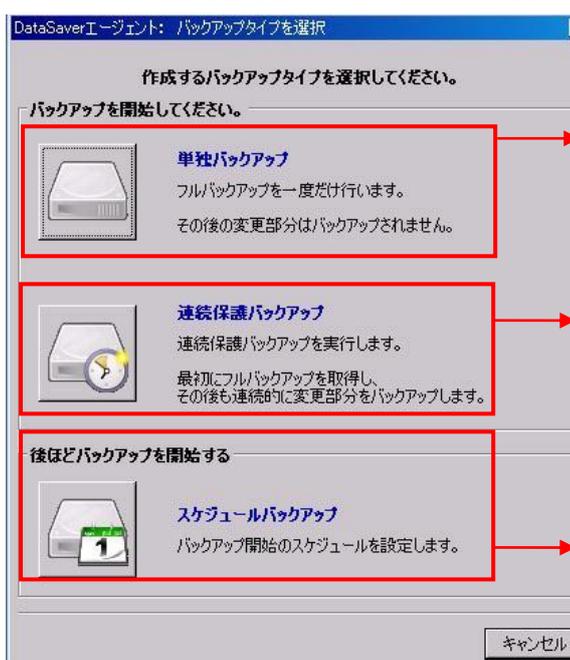
重要 ---- 以下の場合、必ずフルバックアップを取り直してください。

- ・システム復旧後
- ・HDD交換後
- ・大幅なシステムの変更後

7-1:フルバックアップの開始

①バックアップタイプの選択。

【単独バックアップ】か【連続保護バックアップ】【スケジュールバックアップ】のどちらかを選択します。



【単独バックアップ】
フルバックアップを1度行います。フルバックアップ終了後は **datasaver** との通信を行わないため、次回フルバックアップを行う際には再度フルバックアップを行う必要があります。
※必ずスナップショットのスケジュール設定を【スケジュールなし】にしてください。(5-2:エージェント設定の編集をご覧ください)

【連続保護バックアップ】
フルバックアップをすぐに実行します。フルバックアップ終了後も **datasaver** とリアルタイムで接続を行い続けるため、PCは **datasaver** によって常に守られ続けます。

【スケジュールバックアップ】
後ほど設定した時間にフルバックアップを開始します。このスケジュールは設定された時刻1回のみ適用されます。
※スケジュールが有効でかつフルバックアップが完了していない状態でシャットダウンされますと無効となりますのでフルバックアップ完了までシャットダウンしないでください。

②【単独バックアップ】【連続保護バックアップ】を選択した場合

フルバックアップ中のエージェント画面とアイコン表示。

フルバックアップ作成を示す進行状況が表示されます。

※フルバックアップ中は **datasaver アイコンが点滅し続けます。**



※【予想の残り時間】は目安であり、必ずしも、その時間通りに終了するとは限りません。

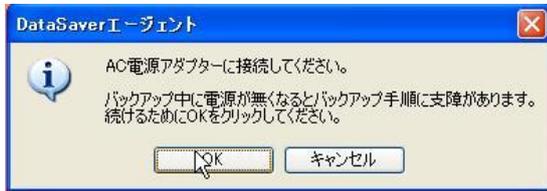
ご使用環境により、異なります。

MEMO--- ノートPCでのバックアップ

※ノートPCのフルバックアップを行う際は、必ず電源アダプターを接続して下さい。

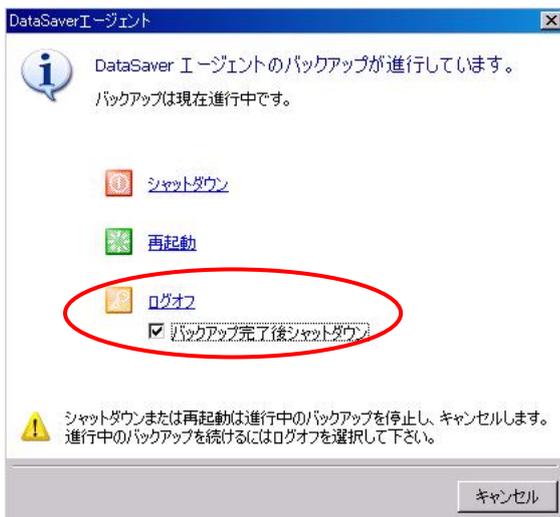
電源アダプターが接続されていない状況でフルバックアップを開始しようとする上記①の画面の後に下記の警告メッセージが表示されます。

※フルバックアップ中にPCの電源が落ちてしまった場合は、フルバックアップ失敗となりますので、電源アダプターを接続した上で、再度フルバックアップを行って下さい。



③フルバックアップ途中でのPCのシャットダウン。

※フルバックアップ途中でPCをシャットダウンしようすると下記画面が表示されます。



【バックアップが完了後シャットダウン】にチェックを入れて左のカギの絵のボタンをクリックすると、ログオフ状態となりフルバックアップを継続し、フルバックアップ終了後、PCは自動でシャットダウンされます。

重要 --- フルバックアップ途中でPCをシャットダウン

ログオフせずにシャットダウンをしてしまった場合は、フルバックアップ失敗となり、再度フルバックアップを行う必要がありますので、ご注意下さい。

7-2:フルバックアップのキャンセル

フルバックアップは、進行状況表示にある【バックアップをキャンセル】ボタンでキャンセルすることができます。

※フルバックアップをキャンセルした場合は、フルバックアップ失敗となり、再度フルバックアップを行う必要がありますので、ご注意ください。



7-3:連続保護バックアップのキャンセル

連続保護バックアップはエージェント画面内の【保護をキャンセルします】ボタンでキャンセルすることができます。

※連続保護バックアップをキャンセルした場合は、連続保護バックアップの再開はできませんので、ご注意ください。
※連続保護バックアップをキャンセルした場合は、再度フルバックアップを行う必要があります。



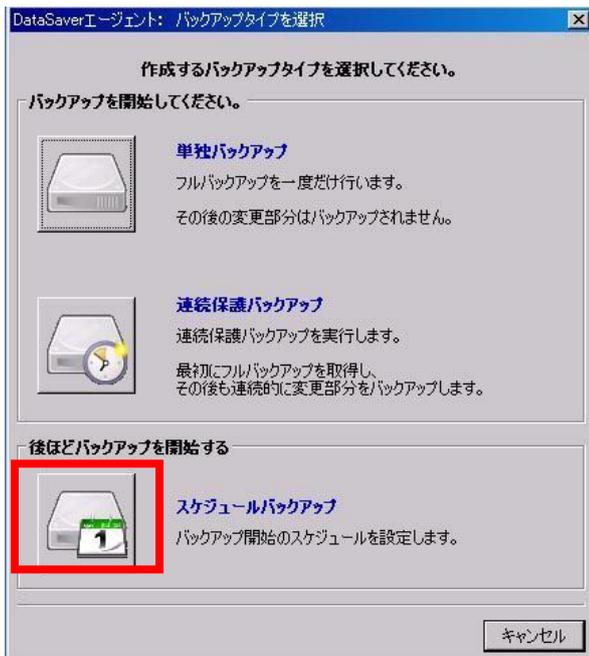
7-4: スケジュールバックアップ

スケジュールバックアップはフルバックアップをする際に選択できる機能です。

後ほどバックアップを開始したい際にバックアップ開始時刻のスケジュールを設定できます。

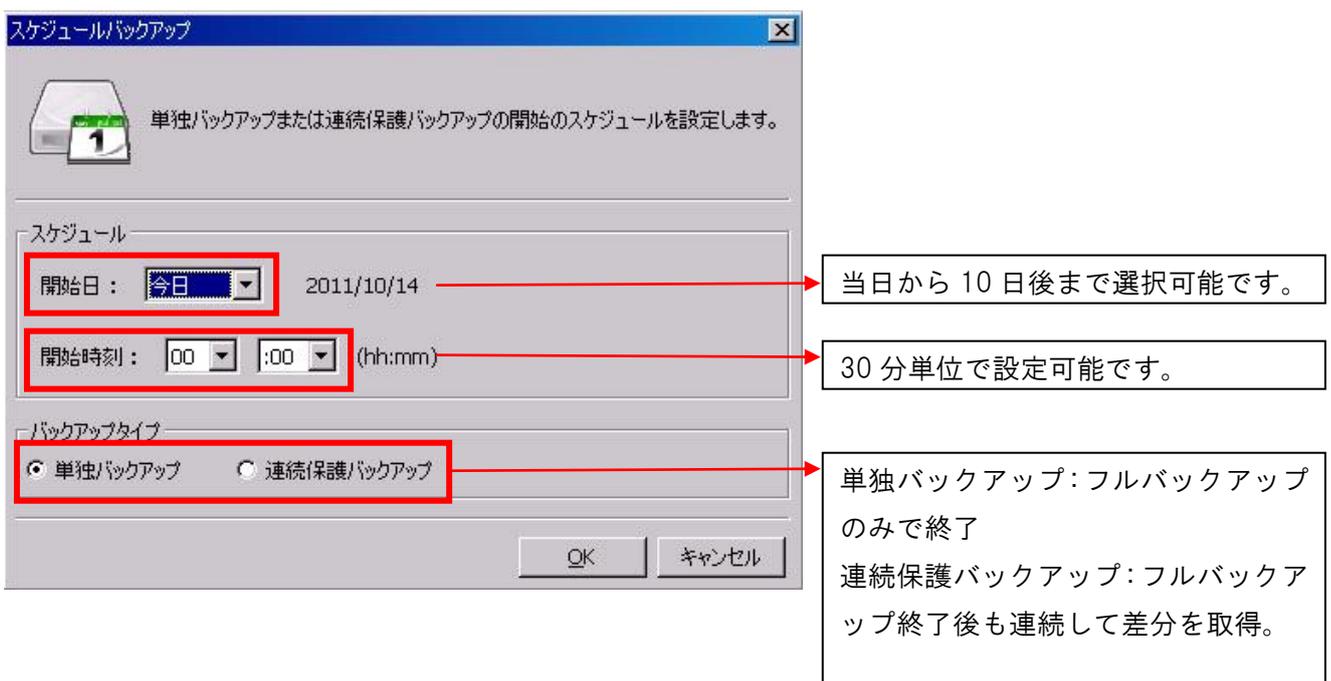
手順①

デスクトップ右下アイコンからエージェント画面を開き、【設定】ボタン⇒datasaver の IP アドレス・エージェント名・パスワードを入力し、保護対象 DISK を選択し、【適用】ボタンをクリックしますと下記画面となります。【スケジュールバックアップ】ボタンをクリックしてください。



手順②

下記画面中の【開始日】・【開始時刻】・【バックアップタイプ】を選択頂き、OK ボタンをクリック。



当日から 10 日後まで選択可能です。

30 分単位で設定可能です。

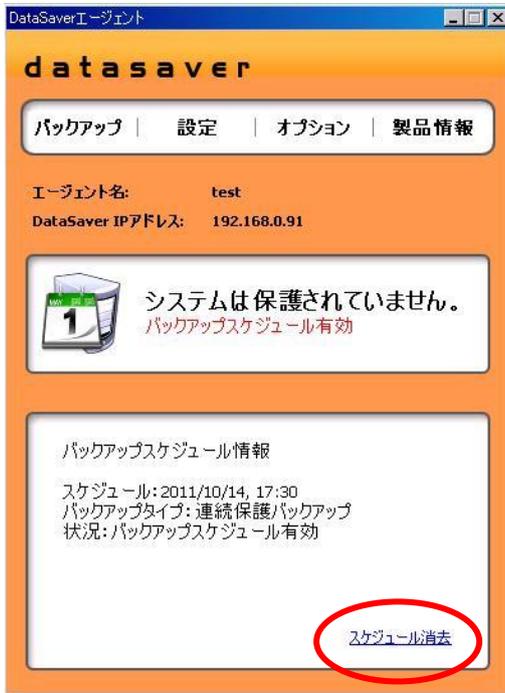
単独バックアップ: フルバックアップのみで終了
連続保護バックアップ: フルバックアップ終了後も連続して差分を取得。

手順③

スケジュール待機中のデスクトップ右下アイコン表示



スケジュール待機中時のエージェント画面

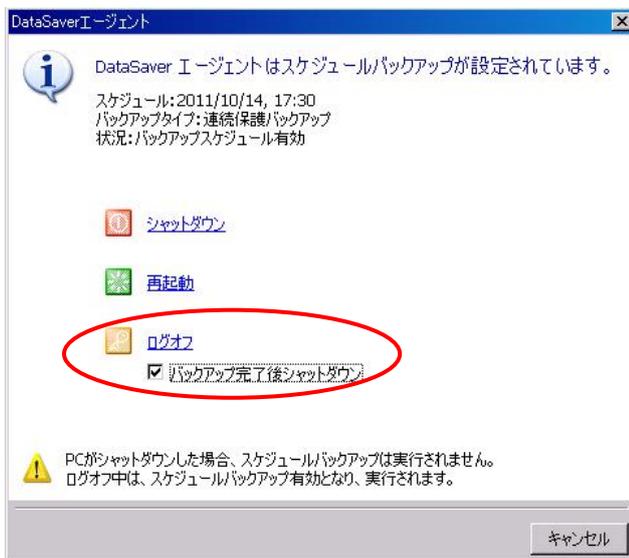


スケジュールをキャンセルしたい際は【スケジュール消去】ボタンをクリック。再度手順①から行ってください。

重要 --- スケジュール有効途中でPCをシャットダウン

下記ログオフ状態でフルバックアップ完了後シャットダウンにチェックを付けて頂き帰宅して頂く運用となります。

ログオフせずにシャットダウンをしてしまった場合は、スケジュールバックアップは失敗となり、再度フルバックアップ設定を行う必要がありますので、ご注意ください。



8.メンテナンス

※システム管理者様は健全なシステムを維持して頂くために 下記メンテナンスを定期的に行うことを強く推奨いたします。

8-1:管理者ログイン画面内のメンテナンス

- ①【管理者ログイン画面】へログイン。
- ②上部にあるメニュー項目から【ディスク管理】ボタンをクリック。
- ③datasaver サーバ本体のディスク容量を確認します。

※現在使用しているディスク容量を確認できます。

※4-2にて【Eメールアラート設定】をしていた場合、ディスク容量の残りが5%になった時点でEメールにてお知らせ致します。

※ディスク容量を確保するためには使用していないエージェントやリカバリポイントを削除して下さい。



- ④datasaver の RAID ステータス確認

※ディスクの状態が【ACTIVE】であれば正常です。

※【ACTIVE】でない場合は【マニュアル応用編】を参照の上、対応して下さい。

8-2:datasaver サーバ本体の再起動

- ①【管理者ログイン画面】へログイン。
- ②上部にあるメニュー項目から【サーバ管理】ボタンをクリック。
- ③【KDI DataSaver 再起動】をクリック。



- ④【はい】をクリック。

- ⑤datasaver の再起動が実行されます。



8-3:各エージェントの状況確認

★定期的に必ず **datasaver** の HDD の動作状態と、バックアップ対象 PC との同期が止まっておらず、最新の時間にて稼働しているかの確認を行ってください。実行間隔は、1 週間に 1 回程度を推奨致します。

- ①【管理者ログイン画面】へログイン。
- ②上部にあるメニュー項目から【エージェント】ボタンをクリック。
- ③各エージェントの最終同期時間が、最近の日時かどうかを、【連続保護】部分と【最終同期】部分を参照して確認する。
※【連続保護】部分が【稼働していません】の場合は、まだフルバックアップが取れていないことを示します。
※【最終同期】部分が【稼働していません】の場合は、連続保護バックアップが取れていないことを示します。



8-4:各 PC からフルバックアップを取り直す。

★定期的に必ず連続差分バックアップを一旦停止し、再度フルバックアップの開始をしてください。
実行間隔は、1 か月に 1 回程度を強く推奨致します。

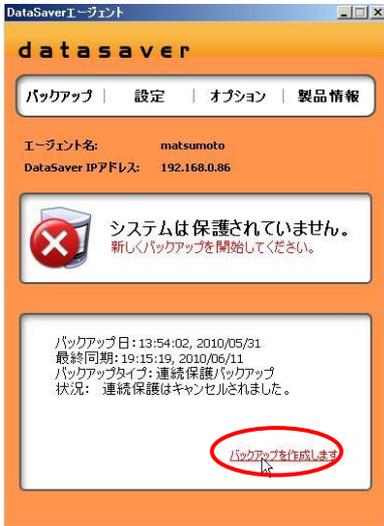
- ① PC 画面右下のトレイのアイコンをクリック。
- ②【保護をキャンセルします】をクリック。



③PC 画面右下のトレイのアイコンをクリック。



④【バックアップを作成します】をクリック。



⑤【連続保護バックアップ】をクリック。



⑥フルバックアップ作成を示す進行状況が表示されます。



8-5:リカバリポイントの確認方法

★リカバリポイントがスケジュール通りに取られているか確認下さい。

定期的に個別ファイル復旧が出来るかを確認下さい。(参照:本マニュアル 9-1:個別ファイル復旧)

- ①【管理者ログイン画面】へログイン。
- ②上部にあるメニュー項目から【エージェント】ボタンをクリック。
- ③【リカバリポイントの管理】をクリック。

datasaver

エージェント | 概要 | 設定 | ディスク管理 | サーバ管理 | ログアウト

新しいエージェントの作成

エージェント名: 111	連続保護: 稼働していません。 最終同期: 稼働していません。 サイズ: ... リカバリポイント: 0 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 22:00 (hh:mm)	
エージェント名: akutagawa	連続保護: 完了 (18 May 2010 06:45 PM) 最終同期: 稼働 (16 Jun 2010 04:05 PM) サイズ: 26.91 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 21:00 (hh:mm)	
エージェント名: ando	連続保護: 完了 (16 Feb 2010 07:54 PM) 最終同期: 稼働 (16 Jun 2010 04:01 PM) サイズ: 20.68 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 07:00 (hh:mm)	
エージェント名: boekimail	連続保護: 完了 (16 Feb 2010 07:55 PM) 最終同期: 同期中 (05 Jun 2010 10:16 AM) サイズ: 28.01 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 07:20 (hh:mm)	
エージェント名: boon	連続保護: 完了 (31 May 2010 10:59 AM) 最終同期: 稼働 (16 Jun 2010 04:06 PM) サイズ: 27.73 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 01:20 (hh:mm)	
エージェント名: design	連続保護: 完了 (15 Oct 2009 09:59 AM) 最終同期: ストップしました。 (16 Feb 2010 12:14 PM) サイズ: 20.31 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7)	

④各リカバリポイントがスケジュール通り作成されているか確認。

※下記は毎日 PM9:00 でスケジュールされています。

datasaver

エージェント | 概要 | 設定 | ディスク管理 | サーバ管理 | ログアウト

エージェント名: akutagawa

連続保護: 完了 (18 May 2010 06:45 PM)
最終同期: 稼働 (16 Jun 2010 04:05 PM)
サイズ: 26.91 GB
リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7)
現在のスケジュール: 毎日: 21:00 (hh:mm)

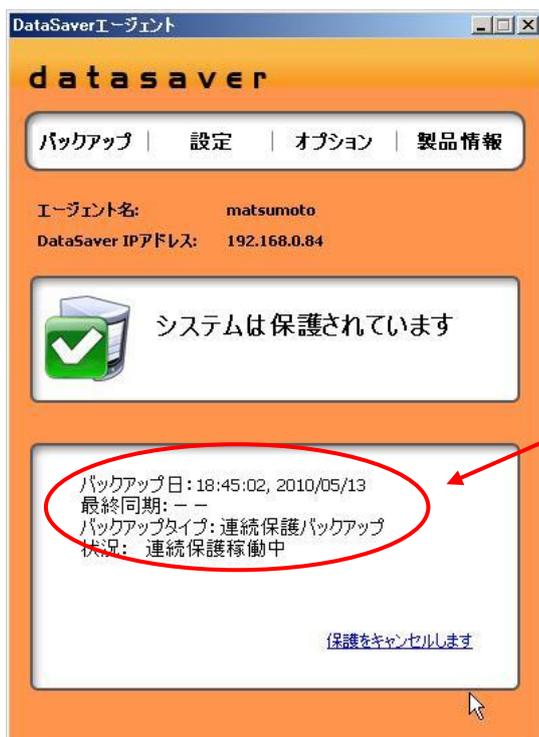
16 Jun 2010 04:05 PM

15 Jun 2010 09:00 PM (1.03 GB)	<input type="button" value="ロック"/>	<input type="button" value="消去"/>
14 Jun 2010 09:00 PM (986.17 MB)	<input type="button" value="ロック"/>	<input type="button" value="消去"/>
13 Jun 2010 09:00 PM (4.10 KB)	<input type="button" value="ロック"/>	<input type="button" value="消去"/>
12 Jun 2010 09:00 PM (378.95 MB)	<input type="button" value="ロック"/>	<input type="button" value="消去"/>
11 Jun 2010 09:00 PM (378.50 MB)	<input type="button" value="ロック"/>	<input type="button" value="消去"/>
10 Jun 2010 09:00 PM (3.12 GB)	<input type="button" value="ロック"/>	<input type="button" value="消去"/>
18 May 2010 06:45 PM (21.03 GB)	<input type="button" value="ロックされています"/>	<input type="button" value="ロック解除"/>

Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

8-6: エージェント画面の確認

★エージェントアイコンをクリックし、エラーが表示されていないか確認する。



この部分に状況説明や、エラーコードが記載されている場合は、メモをして頂くか、画面をコピーして頂くかで、ログファイルを添付頂き、弊社サポート宛てにEメールにて送付下さい。

8-7: datasaver 安定動作させるためのメンテナンス

★定期的に外観のほこり等をふき取ってください。

通風口の詰りによる冷却の妨げを防止する為のメンテナンスです。

十分な内部冷却が行われない場合、**datasaver** は正常に機能できなくなる可能性があります。

9.復旧(リカバリ)

個別にファイルを復旧する、フルシステムカバリをする際の手順です。

個別にファイルを復旧する	<ul style="list-style-type: none">✚ 解凍ソフト「7Zip」のインストール P47～✚ datasaver 本体サーバにアクセス P47～✚ エージェントログイン P47～✚ 復旧したいリカバリポイントを選択 P48～✚ リカバリするファイルを選択、保存 P49～✚ リカバリされたファイルを「7Zip」にて解凍 P49
フルシステムリカバリ(完全復旧)をする。	<ul style="list-style-type: none">✚ 最新版リカバリ CD を準備 P50～✚ リカバリ CD を起動し、言語選択 P50～✚ datasaver 本体サーバと接続 P51<li style="padding-left: 20px;"> datasaver の IP アドレス、エージェント名、エージェントパスワードを準備します。✚ リカバリするリカバリポイントを選択 P51～✚ フルシステムリカバリ(完全復旧)スタート P52～

9-1:個別ファイル復旧

重要 --- 解凍ソフト「7-zip」

※個別ファイル復旧したフォルダ及びファイルは圧縮された状態でリカバリされますので、解凍ソフトが必要となります。

※【7-ZIP】以外の解凍ソフトにて解凍を行うと、稀にフォルダ名またはファイル名が文字化けする場合がありますので

確実な解凍方法として7-ZIPをご使用下さい。

- ①インストール兼ドライバ確認 CD を対象 PC の CDドライブに挿入し、解凍ソフト【7-ZIP】をインストール。



- ②【エージェントログイン画面】にて
【エージェント名】、【パスワード】を入力しログイン。
※初めてのログイン時はパスワードの変更を求められます。



Copyright © 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.
All other trademarks are the property of their respective owners.
For detailed license terms and conditions, please refer to the KDI DataSaver documentation.

- ③【リカバリポイント】ボタンをクリック。



Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

④リカバリをしたいファイルを探す。

(例)1番新しいリカバリポイントのデスクトップにあるwordのファイルをリカバリ(対象PC:XP)

④-1【ファイル/フォルダを復旧】ボタンをクリック。

※上から新しい順にリカバリポイントが表示されています。

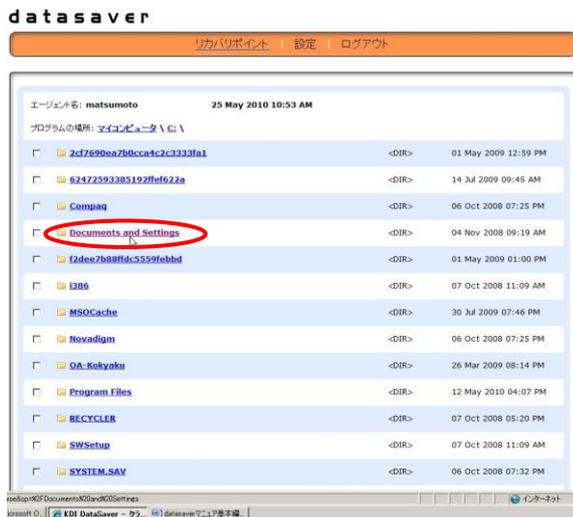


④-2【ドライブ内を参照】をクリック

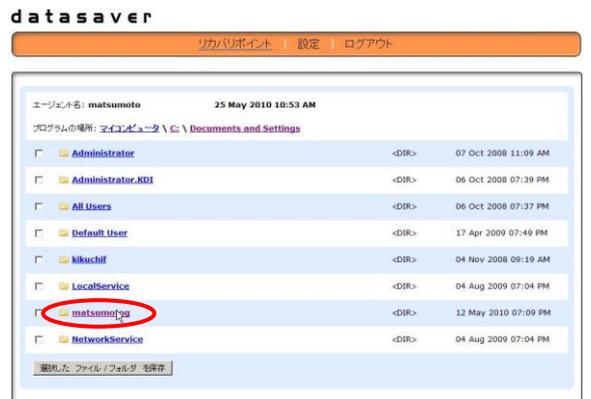


Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

④-3【Documents and Settings】をクリック

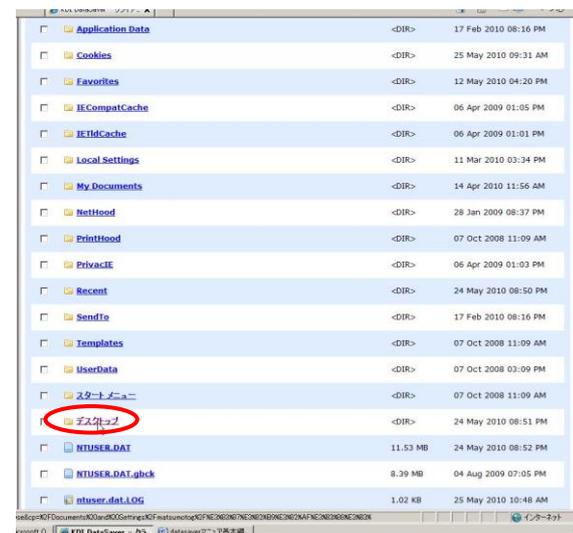


④-4 ユーザー名をクリック



Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

④-5【デスクトップ】をクリック

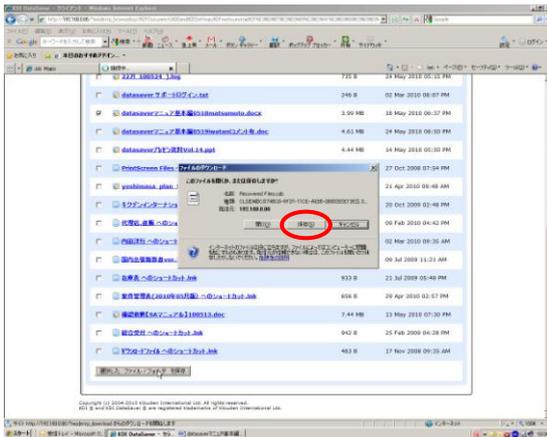


④-6 リカバリしたいファイルに☑を入れ、下部にある【選択したファイル/フォルダを保存】をクリック



Copyright (c) 2004-2010 Kikuden International Ltd. All rights reserved.
KDI ® and KDI DataSaver ® are registered trademarks of Kikuden International Ltd.

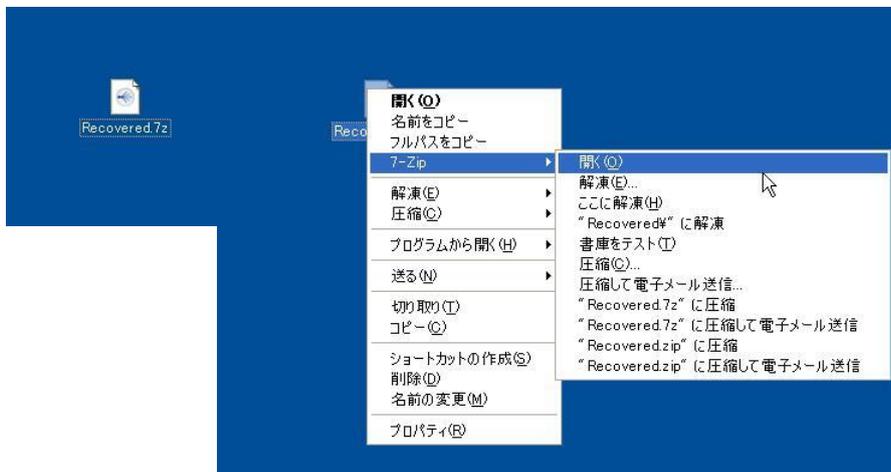
④-7【保存】をクリック



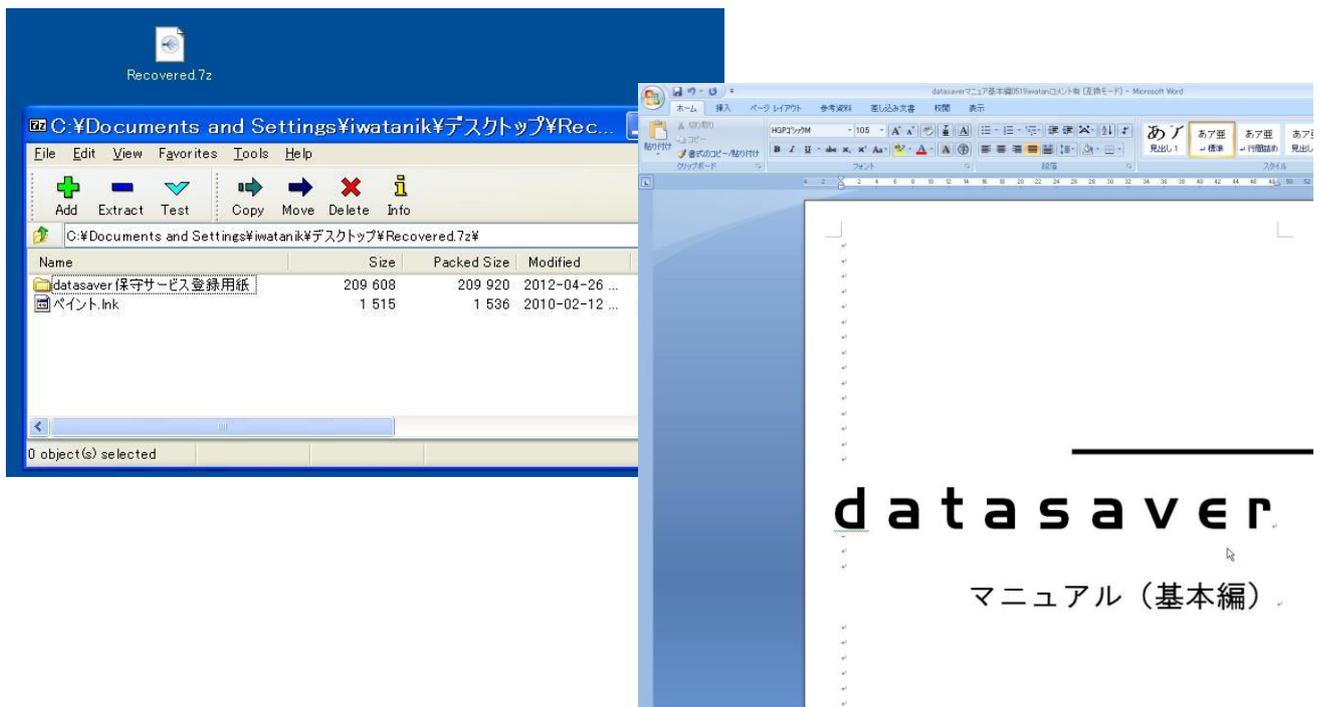
④-8 保存先を決め、【保存】をクリック



④-9 リカバリされたファイルを 7-ZIPにて解凍します。



④-10 ファイルが解凍され使用することができます。



9-2:フルシステムリカバリ(完全復旧)

重要 --- オリジナル HDD の保存---フルシステムリカバリの前に

万一、オリジナル HDD が物理的に故障している事が明白な場合には、すぐさまには **datasaver** による完全復旧を行わず、先にHDDを交換・修理を行ってから完全復旧を行って下さい。壊れているHDDに対して復旧の為の上書きを行いますと、万一必要になった場合に、壊れているHDDからのデータ復旧が困難になります。

故障したオリジナルHDDは必ず別途保管してください

重要 --- 新しく使用する HDD の容量

新しく使用するHDDが今まで使用していたHDD容量と同等か、それ以上である必要があります。

例:今まで使用していた HDD が 80GB だった場合

○=80GB、80GB 以上の容量の HDD

×=40GB等の80GB未満の容量のHDD

MEMO --- フルシステムリカバリする際に必要なもの

①リカバリ CD

②**datasaver** の固定 IP アドレス

③該当 PC のエージェント名、パスワード

①リカバリ CD を対象 PC の CDドライブに挿入し、PC を起動。

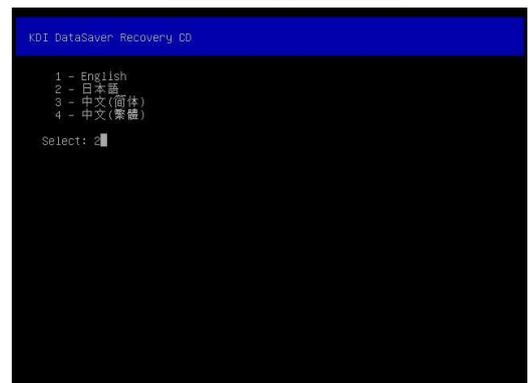


②CD ブート後、すぐに【Enter】キーを押す。

※起動画面は 10 秒経ちますと、自動的に HDD 起動に切り替わります。

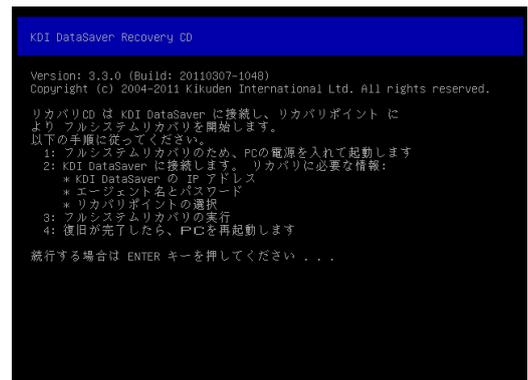
※復旧時の入力画面は英語表示になります。

③言語選択をする。日本語の【2】を入力し 【Enter】キーを押す。



④復旧方法が表示されます。

【Enter】キーを押す。

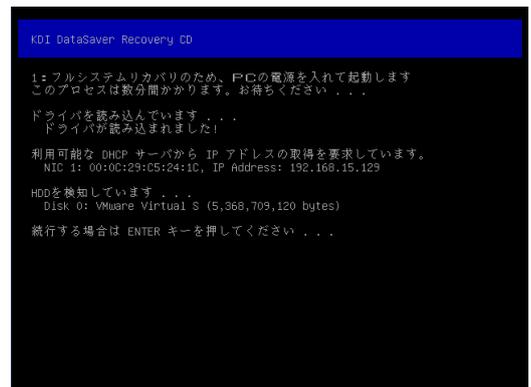


⑤-A DHCP 環境の場合、ネットワークから復旧させる PC に、新しい IP アドレスを自動的に割り振ります。

⑤-B DHCP 環境ではない場合、復旧させる PC に固定の IP アドレスを入力する必要があります。

⑥ IP アドレスを取得後、【Enter】キーを押す。

⑦【datasaver の IP アドレス】を入力し【Enter】キーを押す。



⑧【エージェント名】を入力し【Enter】キーを押す。

⑨【パスワード】を入力し【Enter】キーを押す。

※パスワードはセキュリティ上、表示されません。

カーソルも変化しませんので、入力後、そのまま【ENTER】をクリックしてください。



⑩利用可能なリカバリポイントが表示されます。

キーボードにて【↑】【↓】の矢印キーを使用して上下に移動し、【リカバリポイント】を選択し【Enter】キーを押す。



⑪リカバリ開始【R】キーを押す。

※キャンセルする場合は【C】キーを押して下さい。



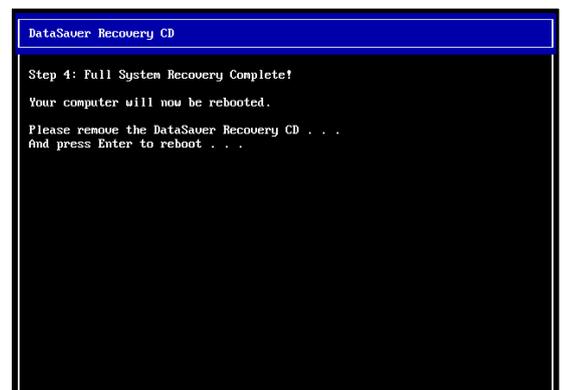
⑫選択したリカバリポイントで復旧開始してよろしければ、はい(Yes)を選択して【Enter】キーを押す。

⑬フルシステムリカバリが始まります。

※データの容量やネットワーク環境により、復旧時間は異なります。
※自動で復旧が行われたため、復旧が完了するまでプロンプト指示が出る事はありません。



⑭復旧が完了したら CDRomドライブからリカバリ CD を取り除き PC を再起動して下さい。



⑮正常なシステム、ソフトウェア、プログラム、ファイル、フォルダ及び、各種設定等が完全に復旧され、前の状態で仕事に戻ることができます。

重要 --- フルシステムリカバリ後のバックアップ

フルシステムリカバリ後は再度フルバックアップを開始して下さい。
自動にて再度バックアップは開始されませんのでご注意ください。

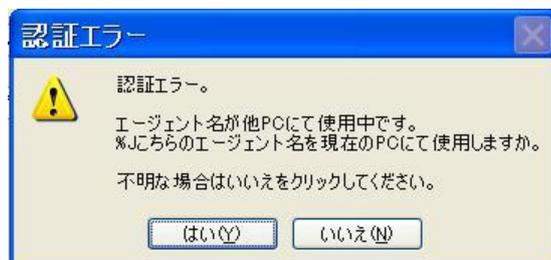


重要 --- フルシステムリカバリ後のバックアップ環境設定

再度フルバックアップを行う際に、環境設定時に同じエージェント名にて再度認証する場合、下記メッセージが表示されます。(datasaver サーバ内にリカバリしたエージェント名が残っているため。)

同じエージェント名にてバックアップを開始する場合は「はい」をクリックしてください。

他のエージェント名にてバックアップを開始する場合は、管理者としてログインし、エージェント作成を行った後 環境設定をしてバックアップを開始してください。



datasaver

datasaver URL: <http://www.datasaver-pro.com/>